

磐城新報

發行日 五十五廿三回
 福島縣石城郡平町
 白銀町二番地
 發行所 磐城新報社
 編輯兼發行人 印刷人
 高木 喬
 本紙 一部五錢一月
 行十五錢廣告料一
 定行三十錢場所指
 定除増

愈々戦線の火蓋は

郷土愛熱に燃ゆる選挙民！ 「純正批評」をモットウに

公潔なる選挙界に臨め

：今から十二年前、憲政會の政、民四對
 が縣會に於て多數を占めたの問題と云へば、それが如の「眞の力」なるものが郡民
 際、彼反對黨に於ては多數何に地方民の爲め有利な問の核心に深刻に觸れたらし
 を頼んであらゆる迫害を加題であり事業であつても、かつた、多分心中秘かに政
 えたものである、殊に石城有無を言はせず對反し、友會萬歳を唱えた事であら
 郡の事業に對しては結束し、
 て之れに反對したものであ
 る、平町鑿線水道問題、藤
 原川改修問題、等々數え來
 れば

枚舉

に違がない、水

道問題の如きは當時我黨選
 出議員たる中野浩忠、新田
 目善次郎等の諸君が急先鋒
 となり議會に於いて水道問
 題に對する三萬圓の補助案
 を提出し愈々最終の縣會に
 更に二萬圓増額の手配を爲
 したが多數反對黨の爲め我
 黨縣議の提出案は

無慘

にも否決の運命

に叩き落されてしまった、
 藤原川問題も彼の反對黨の
 ため同様の運命に遭遇した

切つて落された

郷土愛熱に燃ゆる選挙民！

純正批評

をモットウに

公潔なる選挙界に臨め

ある、當時我黨縣會議員の
 心中は憤懣と復讐に燃えた
 それにも増して地方民の腦
 裡には骨髄に徹した恨みで
 一杯に満されてゐた、復
 讐せざるべからず、之れ
 が虐げられた石城郡民の憤
 激の叫びであり

呪い、の聲であつた。
 併し、どうも時機が到来
 した、むくいられた念願の
 日が来た、次回の改選期に
 は目的通り我黨政友會の多
 數となり、先きに否決され
 た諸問題は水の流れるが如
 くスラ／＼と通過解決せし
 めた。我黨積年の恨みは漸
 やく晴された、郡民の
 憤懣は解けた、

激勵 である、全氏の
 言葉を以つてせば當時我が
 石城郡民は憲政會の爲めあ
 らゆる迫害と暴虐を受けた
 事が明確に推測する事が出
 来る。
 尠くとも郷土愛に目醒め
 た者はこの暴虐極まりなき
 反對黨の批政暴政に對して
 は飽くまで郡民の敵として
 永遠に呪ふべき執拗なる眞
 剣味があつて欲しい。
 今や 戦線の火蓋は切
 つて落された、石城の政界

は多端である、政、民四對
 三で互いに鎗を削つてゐる
 絶對地盤を以つて誇つてゐ
 る石城政友派の勢力は果し
 て永遠性を持續得らるゝか
 どうか。暴政に虐げ惱ま
 れた郡民は郷土愛をモット
 として

最後 まで我が政友派
 「永遠の誇り」を保護する
 事が郡民としての義務であ
 る事を自覺せねばならぬ、

縣會選挙の要点と

選挙民の覺悟

普通選挙の前哨戦として行
 はれる府縣全議員の選挙は
 根本に於て一大改革を加
 られたが其の重なる點は左
 の諸事項である、
 一、選挙被選挙は何れも年
 齡二十五才以上の男子な
 り

一、買収犯罪等には、新た
 に懲役の刑を設けた外一
 般に刑罰を重くし、事務
 長が買収罰で處刑された
 時は當選は無効とす
 一、選挙事務員の外は報酬
 は受けられず又當選後の
 祝賀會にも違反となる
 右はホンの其の要點で數
 來ればまだ、澤山あるが
 紙上の都合で今回はこれ
 だけを掲げ讀者諸君に御參
 考までに供しておくが斯う
 して我々が改正された普選
 の方規を熟讀含味すると一見
 非常に狭苦しい感じがして
 これでは迎も手も足も出な
 くなる様に思はれますが、
 從來の如く選挙界の腐廢せ
 る今日斯くの如き選挙法規
 を設け根本より舊套の打開
 に努むるは我が國選挙民に
 執つて最も喜べき現象との
 云はねば成らぬ、果して此
 選挙法が、理想通りの歩調
 で終始するや否やは未知數
 の問題であるとしても尠く
 とも道義觀念に燃してゐる
 選挙民としては勿論普選の
 第一線を大過なく乗り越え
 得らるゝことを充分確信し
 て已まぬ次第である、



縣會議員候補者

山崎吉平氏の面影

第三者は演説推薦狀(新聞
 の推薦廣告を含む)に依
 る運動の外は一切出來ず
 又其の支出は候補者の費
 用に計上されぬ事
 一、選挙運動の費用を各選
 舉毎に制限し、之を越え
 て支出すれば當選無効と
 なる
 一、名刺は白色、文書、ポ
 スタービラ等は二色刷以
 内に寸法を定め、看板の
 數並にその寸法を制限す
 一、演説會場には、公立學
 校々舎の無料使用を許し
 た事、

ロダンの彫塑を想はせる 荒削りの山崎吉平君

君の持ちあがりとする邁進性が 政海にドンナ波紋を投げるか

太い直線と、荒削りの像での信望は今更贅言の必要行為を諒つた、兒童教育の恰度ロダンの彫塑に出てくは無い、君の義侠に富む處極要機關である事を充分に様な輪格と内實性。

これが山崎吉平君に對する其れに附隨した統率の才善い思ひ付きたと稱して一全描寫であり全人格であ能はより多く村民の信譽をも二もなく協賛した、其のる。あの濃厚な風貌に接し、大正元年推されて飯日から各自辨當持參で詰める。弾力的な言動に觸れた者は野村長となり、前後三期のかけた工事中一回の喧擾も誰れしも其うした直感に打長い間理事者として張りのなく油の如き團圓裡に決をたれるに違ひ無い、初對面強い果斷性を縦横に發揮しむすんだ、此の延人員六千者には決して、感じを與た君の在任中大きな仕事が入現在の新校舎がそれであえない洋風に言へばフアー二つある、其の一つは十六、然かも構造と云ひ内容スト、インスピレーション年前の大正元年地元飯野村設備と云ひ、行き届いた點が極めて悪いと云ふことにより高久村を経て豊間江名は郡内之れに比肩すべきも落ち着くわけである、其のに至る此の間四里の里程郡の他にあるまいとの事であ點は先輩高岡唯一郎氏の血道を縣道に編入すべく山崎ある、けだし溢美では無いをチカに享けつたもので君が急先鋒となり實現に努當時村長であつた山崎君のあらう、併しあの太い直線めた無難周囲から洪水の如たざる様な苦心と、瀧の如形の中には水の如うに透明な反對は免れなかつたが當き努力との跡がハッキリ表な單純性が溢れてゐる、然の歸結として顧みず所謂現されてゐるではないか。

の荒削りの輪格には奔馬の山崎君らしい突撃性を發揮君の仕事はこれだけに留ま如き邁進性が鬱血してゐるしてどうく、所期の目的をたぬ、またある小さな仕事口の人では無い、従つて辯貫徹した、第二が大正十二でも大袈裟に吹聴し宣傳論の雄では無論無い、だが年着工に係る飯野小學校の新兵者から比べるごまた併し熱と力で行く新築工事である、總工費六〇〇數知れずある、併しそに於ては半歩たりとも人後萬餘圓外に村の寄附行為の割合に君の努力や功勞はにおくれを執る男ではないなる人夫六千人この總費約余り社會に周知されない、まづ果斷實行主義を地で行一萬圓を計上した、此の人實に遺憾なものである、もく方であらう故原敬先生の夫の寄附制度が又極めて面う少し自己宣傳につとめた「政治は力なり」のモット白、涙ぐましい程面白ならぬ齒痒いさを感じさせ

は君の如き人物に於て始村の青年や其他勢力に堪えるが、そこが君の幽徳の現めて理想化され、實現化さ得らるる村民は一戸から一はれとも云ふべき處である

界の主幹清水正巳氏は有益

ものもけだし其處に歸着して問題の解決に實擊邁進るのである、君は當年五十してくれたなら百萬の味方四十年輩から推して圓熟最とは云はぬが、期待する處盛期と云ふ處であらう、何亦大なるものある事は疑義にをさせても心配はないとの無い處である。

云ふ年輩である。實際から今や選舉氣分に刻々と濃言へばどうに政界に打つて厚となり深刻の境域に這入出なければ成らぬ順位の人つて来た小野晋平君勇退し物である、しかしヘタな遠てからの君は極めて不利の慮や謙讓が却つて君をして立場に投げ出されてしまつた、優勢であつた形勢は一其の機を長引かした事はは君をより早く政治の力行域に躍進せしめ様と熱願してゐた周囲の人々に對して申し譯けの立たぬ事になるわけである。

本郡には、成さねば成らぬ事業が鬱積してゐる此の時に於いて矢張り君の如き人物が我々縣民を代表

來顯史の發見的著作で定價四圓五十錢部少数に付き至急平町各書店に申込を乞ふと、

加藤丈夫氏及白銀町青年分團長柏木勝利君外團員有志諸君の奉仕活躍の爲め白銀町妙見神社發典は益々善男善女によつて般賑を極めて來た

愈よ縣議選舉は白熱的化したボスターの皮切りは去る五日早くも本郡三坂村出身田子健吉氏に依つて貼り出された引續いて各候補者のボスターが選舉氣分を濃厚ならしむる事であらうが自

分の氣に食はぬ候補者のボスターだからと云つて無斷に破いたりすると選舉法第百十五條の第二項に觸る、罰金に處せられると

明年度から實施となる陪審若は禁錮又は二千元以下の罰金に處せられると

八日より寫真替りだそうだ岡田嘉子、高木永二君主演の海陸猛闘大喜活劇「素敵な美人」全七巻物はモターボート、自動車、自轉車、オートバイ、ヨット其他の乗物による文化喜劇のこのなれば此れまた人氣を呼ぶであらう、

奏樂も平館が好い、ことに大亂闘劇、劍争の場面がフアンを喜ばせる、説明も南君石井君外一同の大努力の爲めか映畫と伴奏との調和がしつくりとあつて評判が好い、

鬼語魔語

警城の實業新聞社長大和田なる商業講演會を開催する

與平氏は今回警城殖産合同ことに決定したが場所は近

株式會社を設立し事務所を日發表すると、

南町五十番地に置き債券債

務の交渉解決及び民衆的の目下、翁島御別邸に御避暑法は一般民から囑望の目を

金融機關として同氏獨特の中、山宮宮萩王殿下にはもつてみられてゐるがその

手腕を縦横に發揮する事に去月廿二日、會津若松市へ普及宣傳のため去る三、四

なつたが事業は一般より高御光來の際、畏くも市物産日の兩日平劇場に於て平町

評あり氏も又當地方稀に見陳列館にて平町白銀町郷士の辯護士や知名の士が實際

る高風豊かなる純情さを有文化會、理事諸根棹一氏著舞台に現れて、陪審裁判劇

つ紳士である、

「警城文化史を御下問あり」裁かる、日」を開演され

翌廿三日御買上げの光榮をたそれ人が人氣を呼んだか場

賜りたることは同會及び本内は大入り満員の盛況、觀

望により平町役場、青年縣石城の誇りとして恐懼に衆に徹底せしめ一般からの

團、實業會、常磐毎日新聞耐へざる處である、尙同書評判の好かつたのは裁判長

社、警城時報社及び本社等は陸奥關門たる即ち舊警城の門傳清吾氏真木、酒井、

後援のもとに廣告販賣學の歴史制度を研究綜合した山野邊諸氏等の辯護人また

世界の權威者たる雜誌商店るものにして且つ本邦史上一方陪審員としての評判は

界の主幹清水正巳氏は有益

平の映畫界は今まで農繁期と熱暑の爲め幾分入りは少くなつてゐたが、秋氣分タップリとなつたので平館の如きは毎夜大入の盛況である、

平館は盛況の筈である他館の如き悪評もなく寫眞の優秀なるものを撰ぶ事に努めファンを喜ばしてゐる平館は最近連續天活劇秘密の扉河部五郎主演の妙法院勘八が人氣をよんでゐる、

八日より寫真替りだそうだ岡田嘉子、高木永二君主演の海陸猛闘大喜活劇「素敵な美人」全七巻物はモターボート、自動車、自轉車、オートバイ、ヨット其他の乗物による文化喜劇のこのなれば此れまた人氣を呼ぶであらう、

奏樂も平館が好い、ことに大亂闘劇、劍争の場面がフアンを喜ばせる、説明も南君石井君外一同の大努力の爲めか映畫と伴奏との調和がしつくりとあつて評判が好い、

印刷鮮明と迅速本意の株式會社

平活版所

社告

本紙壹ケ年購讀者家族慰安大會は來るべき縣議戰後十月上旬愈々平館に於て開催いたします

急告

平町より江名町へ四里の道程を僅かに一時間二十分で行ける片濱乗合自動車、運轉時間は確實です是非御利用下さい

平發は農銀支店前

鈴木片濱

自動車部

動脈硬化症、腦溢血特效劑

青麻山 中風靈藥

價 定 一週分 九〇 半身不隨言 二週分 一七〇 不順等他藥 三週分 二五〇 非御試用を勸む

代理店 山野邊藥局

秋冬新柄着荷 吳服は 三井吳服店

平町三丁目 電話三八番

動脈硬化症、腦溢血特效劑
青麻山 中風靈藥
代理店 山野邊藥局

秋冬新柄着荷
吳服は 三井吳服店
平町三丁目 電話三八番

理智と情熱を等分に行く

鈴木辰三郎君

羽二重の布圍の肌ざりかにかに近似した共通點を發
但し模様にかいた木の枝が見せすにはならなかつた
ともすると蛇に見える、前からである。

古川傳一君

我党の誇りとせねば成る
新書をあさるせいや頭が
益々現実的な理想境に入る

辯論雄者の
井上茂作君

年は六十路に近い頭髪もう、新書をひもこく、殊に
残りすくなく漂ふてゐる、洋書に趣味を有し、直ちに
時節柄ス、キのむれから仲活用し社會民衆の爲め講座

鈴木辰三郎論を書かんと
ある、辯論に至つては縣下であらう、弱く候補者だけ
是非共今回の選挙には勝つ

浮んだ、それは決して偶然會席上に於いて一席を斷じ
橋守次君は重石となつて君
もは君の必勝に念願をこめ

廣く満天下の各位に御一覽を切望す



近代の大政治家平民宰相の寫眞頒布
此好機を逸せず即刻申入まれたし
大 縦一尺二寸、横九寸 定價三圓二十錢
小 縦一尺、横八寸 定價一圓五十錢

所込申
福島縣平町三丁目
石城政友俱樂部内
山田忠太郎宛
(電話四五七番)

親切低廉
繁速正確
貨物運送業
大浦村
木村醫院
院長 木村守江
電話四倉三三番

大浦村
木村醫院
院長 木村守江
電話四倉三三番

壽し信
平町三丁目谷口樓横通り
和久井屋漆器店
平町三丁目
電話四〇五番

名聲嘖々
わそぶや
遠藤帽子店
平町三丁目
電話七二八

